

短期海外語学研修の報告

夏休み中の2週間、カナダ・バンクーバーへ語学研修に行ってきた西高2年Uさんの研修報告です。



1. まずはホームステイ先へ

空港に着いたらまず、語学学校で手配してくれたホームステイ先へ向かいます。学校のグリーティングスタッフが空港まで迎えに来てくれて、ホームステイ先まで車で連れて行ってくれるので安心です。どんなホストファミリーか期待と不安でいっぱいでしたが、ホストファミリーは研修生の受け入れに慣れているので、すぐに馴染むことができました。

2. 通学開始！

バンクーバー入りして2日目、いよいよ研修開始です。ホームステイ先最寄のエドモンド駅から電車に乗って語学学校へ。初日は、オリエンテーションと面接などのあと、バンクーバーツアーで街の様子を感じ取りました。

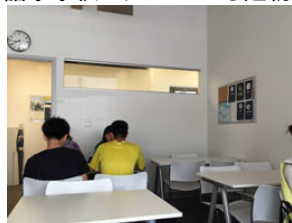
学校に戻ると、私の入るレベル別クラスと、時間割の発表です。そして、翌日から本格的な研修が始まりました。はじめは少し恥ずかしさがあったけれど、どんどん発言しないと絶対に損！不完全な英語で、シドロモドロになりながら、会話に参加しているうちに、恥ずかしい気持ちは全く消えていきました。なんだか、楽しくなってきました！普通の語学研修だけでなく、学校外での学習も。私たちはスタンレーパークへ行ってきました。



語学学校の入っている建物



バンクーバーツアーへ出発！



語学学校の教室



スタンレーパーク

3. アフタースクール&ホリデイ

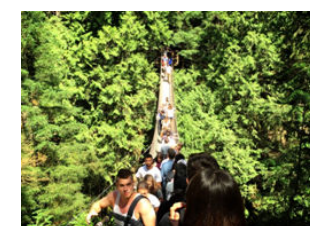
放課後や休日は観光のチャンス！バンクーバー水族館、ブレイルランド（遊園地）、イングリッシュベイへ行き、バンクーバーを満喫しました。

4. いよいよ卒業

最終日、到達度テストなどを受けて無事卒業。楽しかった2週間の研修もこれで終了。名残惜しい気持ちを抑えつつ、帰国の準備をしました。I Love Vancouver！



グランビルアイランド



ライオンズゲートブリッジ

5. RECOMMEND (西高生のみなさんへ)

ためになった！

英語を見ても脳が拒絶することなく、すんなりと受け入れられるようになりました。日本人以外は、授業中に自由に答える場面で積極的に声を出していたので、私も「負けたくない」という気持ちで、とりあえずよく声を出しました。おかげで、間違いを恐れなくて胸がつかしました。また、英語力がなくても英語しか通じない所へ行ったら伝える手段が英語しかないのでは、間違いなんて恐れている場合ではなくなります。



エピソードあれこれ

通学初日の朝、バスルームが水浸しになっていて困りました。すぐに学校へ行かなければならなかったのに、とりあえず置き手紙をして出かけました。

飛行機から降りて荷物を受け取ると、スーツケースのベルトが無くなっていて、すぐ受付に申し出たのですが返せないといわれ、仮のベルトをもらいました。なにかあったら、その場で対応です。



オススメポイント！

一般の高校ではなく語学学校に行った方が良かったと感じました。自分のレベルに合ったクラスに所属するため、クラスメイトは自分と同じくらいの英語力で話しやすい。また、英語で理科とか習っても理解できないけど、語学学校は英語で英語しか学びません。

絶対に、ホームステイ（ルームメイト、ハウスメイトがいたら最高）！毎日、必ずホストファミリーとの会話が繰り広げられるので、話す良い練習になります。他国の料理が食べられます（私のホームステイ先はご飯が美味しかった。でも、日本食の手間のかけ方のすごさに気づきました）。「夕食はいらない」と断りをいれるときも、英語だから練習がたくさんできます。異文化をよく受け入れられるようになります。

